

平成23年度

エコドライブ活動コンクール



優秀取組事例集



「環境にやさしい取組をしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、交通
エコモ財団が推進しています。

全てのエコドライブ活動
推進管理者の皆様へ



平成23年度 最優秀賞・
優秀賞受賞者の取組を
紹介します。



 交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10 番地五番町 KU ビル 3 階
交通環境対策部 TEL:03-3221-7636 FAX:03-3221-6674



交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

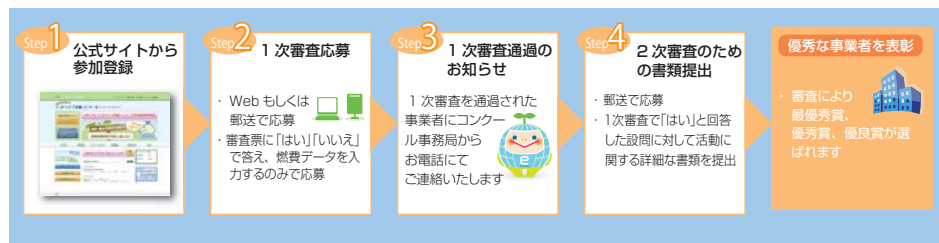
コンクール概要

目的

エコドライブ取組み優秀事業者を表彰し、その取組みを紹介することで、エコドライブの更なる普及を図ります。

主催	交通エコロジー・モビリティ財団
後援	エコドライブ普及連絡会 警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省 エコドライブ普及推進協議会 公益社団法人 日本バス協会、(社)全日本トラック協会、一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本自動車連盟、(社)日本自動車販売協会連合会、(社)日本自動車整備振興会連合会、(社)全国乗用自動車連合会、(社)全国個人タクシー協会、(社)全国自家用自動車協会、(社)日本自家用自動車管理業協会、一般社団法人 全国レンタカー協会、(社)日本中古自動車販売協会連合会、(社)日本損害保険協会、一般社団法人 日本自動車リース協会連合会、(財)運輸低公害車普及機構、交通エコロジー・モビリティ財団
スケジュール	①応募申し込み受付期間 平成23年5月16日(月)～7月15日(金) ②2次審査申し込み受付期間 平成23年8月11日(金)まで
募集対象	日本全国の事業者で、自社の車両を保有する事業者を対象とします。 ・車両とは、乗用車、トラック、バス、タクシー等を指します。 ・営業用、自家用は問いません。 ・コンクールは、原則的に事業所単位でエントリーを受け付けます。但し、事業所を 超えての取組みおよび燃費管理を一つにしている場合は、共同部門として受け付けます。
表彰	最優秀賞 1事業者(賞状と記念品) 優秀賞 5事業者(賞状と記念品) 優良賞 39事業者(賞状)
応募費用	無料

コンクールの流れ

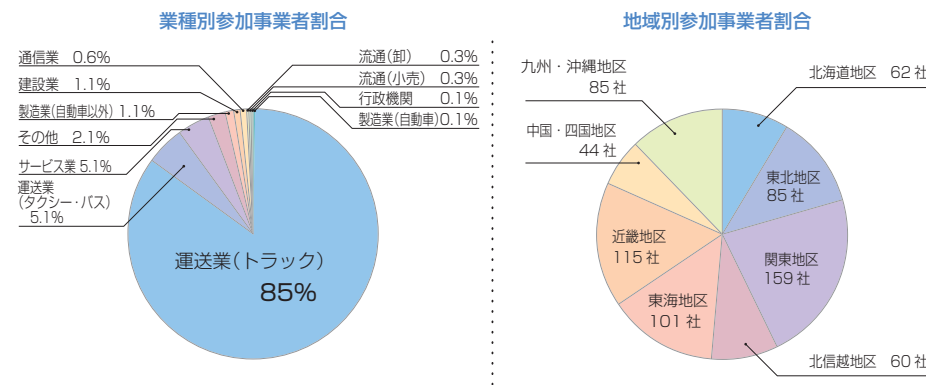


募集結果

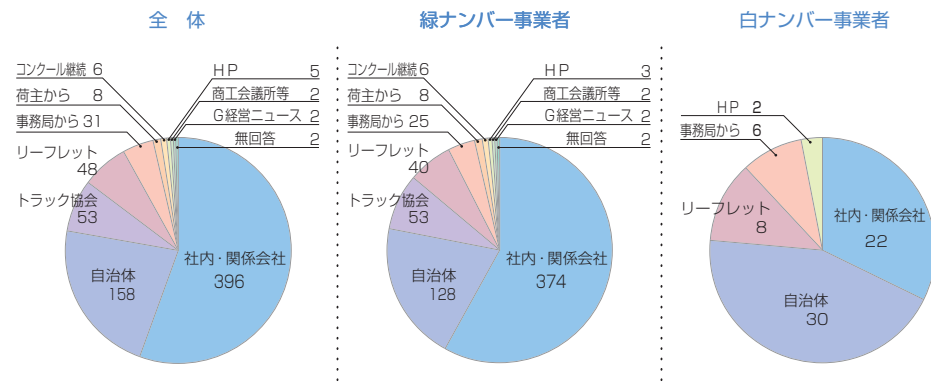
参加数

1次審査	事業者数	事業所数	従業員数	車両台数
	711	1,349	77,196	37,448
2次審査	事業者数	事業所数	従業員数	車両台数
	263	591	41,148	16,946

業種別・地域別分類



参加情報入手先



審査方法

H23 エコドライブ活動コンクール審査委員（敬称略）

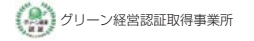
委員長 大聖 泰弘 早稲田大学理工学術院 教授
 委員 飯田 訓正 慶應義塾大学工学部 教授
 大澤 厚 社団法人 全日本トラック協会 交通・環境部 部長
 館内 端 日本EVクラブ 代表
 脇畑 賢 一般社団法人 日本自動車連盟 交通環境部長
 加藤 信次 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部長

エコドライブ活動コンクールの審査項目

エコドライブ活動コンクールでは、5つの大項目（小項目25）について審査します。
 エコドライブ活動の具体的な様子や内容が、明確かつ簡潔にわかることがポイントです。

選考基準	評価基準
①取組体制の整備	エコドライブ活動を事業所全体の取組として掲げている
	活動を実施するための組織・体制を整備し、推進責任者を定めている
	具体的な活動目標と計画を定めている
	定めた目標・計画を社員に周知している
	車両の管理体制を整え、点検整備を適正に実施している
②教育の実施	エコドライブの目的として地球環境問題について啓発している
	エコドライブに関する教育計画がある
	そのための適切な教育資料を有している
	教育実施記録や受講者の意見などを保管している
	エコドライブに関する外部のセミナーや講習会に参加している
③燃費管理	燃費に関する定量的な目標数値を設定している
	燃費を把握する仕組みが確立されている
	燃費データを定期的に分析・管理している
	燃費データ分析結果を社員に周知し教育に活用している
	活動開始から現在までの全ての燃費データを保管している
④活動成果と評価	活動前と比較して燃費が向上している
	事故の減少や維持管理費の低減等の副次的効果を把握している
	活動の成果を社内に周知している
	自社の活動成果をもとにエコドライブ普及のための対外的活動に参加している
	社員の取組を評価する仕組みやルールがある
⑤継続実績と方策	上記が社員の活動意欲向上に寄与している
	活動実績3年未満／活動実績3年以上5年未満／活動実績5年以上
	活動目標・計画を適宜見直している 活動継続のため独自の工夫をしている

受賞者一覧



- 最優秀賞**
- 茨城流通サービス株式会社 茨城県古河市
 「平成23年度環境保全功労者」として、環境大臣表彰を受けました。
- 優秀賞** (都道府県順)
- 磐城通運株式会社 植田支店 福島県いわき市
 - 南信州広域タクシー有限会社 長野県飯田市
 - 株式会社ダイコー商運 静岡県浜松市
 - TB物流サービス株式会社 生産物流部 愛知県豊田市
 - 株式会社中央運輸 岡山県美作市
- 優良賞** (都道府県順)
- 株式会社ロジパルエクスプレス 札幌営業所 北海道札幌市
 - 丸大トラック株式会社 北海道小樽市
 - 十和田バイオニア株式会社 本社工場・第二工場 青森県十和田市
 - 磐城通運株式会社 植田支店火力営業所 福島県いわき市
 - 磐城通運株式会社 小名浜支店 福島県いわき市
 - 磐城通運株式会社 小名浜支店小名浜製錬営業所 福島県いわき市
 - 磐城通運株式会社 平支店 福島県いわき市
 - 磐城通運株式会社 湯本支店 福島県いわき市
 - 株式会社高田運送 栃木県下都賀郡壬生町
 - 日本トラック株式会社 栃木営業所 栃木県下都賀郡岩舟町
 - さいたま市役所 埼玉県さいたま市
 - 株式会社入船物流システム 千葉県浦安市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 船橋営業所 千葉県船橋市
 - 佐川急便株式会社 文京店 東京都江東区
 - 株式会社誠和 東京都江東区
 - 株式会社ビルケアビジネス物流センター 東京営業所 東京都江戸川区
 - 株式会社ジェイアール東日本物流 東京都墨田区
 - 株式会社エスアールシー 横浜営業所 神奈川県横浜市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 川崎営業所 神奈川県川崎市
 - 株式会社松本商会 神奈川県海老名市
 - 日本トラック株式会社 藤沢営業所 神奈川県藤沢市
 - 上越運送株式会社 新潟県上越市
 - 北陸牛乳運送株式会社 福井県福井市
 - 花王ロジスティクス株式会社 甲府営業所 山梨県中央市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 静岡営業所 静岡県静岡市
 - リコーロジスティクス株式会社 物流センター御殿場 静岡県御殿場市
 - 大河原運送株式会社 本社営業所 静岡県島田市
 - アトラスカーゴサービス株式会社 宝生営業所 愛知県名古屋市中区
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区
 - アトラスカーゴサービス株式会社 春日井営業所 愛知県春日井市
 - 株式会社アイティー物流 愛知県東海市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 茨木営業所 大阪府茨木市
 - 摂津運輸株式会社 大阪府摂津市
 - 大阪星友運輸株式会社 大阪府門真市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 神戸営業所 兵庫県神戸市
 - 株式会社浜田運送 兵庫県姫路市
 - ヤマト運輸株式会社 広島主管支店広島緑井センター 広島県広島市
 - 株式会社ロジパルエクスプレス 福岡営業所 福岡県糟屋郡粕屋町
 - 株式会社ユタカ産業 鹿児島県いちき串木野市



茨城流通サービス株式会社

企業プロフィール

所在地：茨城県古河市丘里14-4
業種：運輸業
従業員数：62
車両数：54



主にエアークッションなどの化学製品輸送を行っており、全ての項目において高い水準のエコドライブ活動を行っている。特筆すべきは、燃費に関する実験を行い、燃費改善が低調なドライバーの燃費を底上げする動きにつなげていることである。また、ドライバーの意見で班会議の回数を増やすなど、ボトムアップでの活動を大切にしている。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

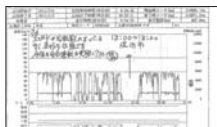
- 班会議は全員参加。昨年度までは2ヶ月に1度だった班会議が、ドライバーの要望により1ヶ月に1回の開催となった。
- 横造紙に班ごとの課題を書き出し、ミーティングで周知。資料には多くの書き込みがあり、班ごとにとりまとめている。



班会議

教育の実施

- 毎月1回、班会議を開催。ほかにも、2ヶ月に1度のペースで班長会議や輸送品質向上研修会などを開催している。
- 茨城県トラック協会の中央研修会を、3ヶ月に1度2名ずつ受講させるほか、ディーラーの外部研修も年2回2名ずつ受講させている。
- 全ての議事録が保管され、議事録には手書きで詳細な補足が付け加えられている。
- デジタコの運転日報に管理者のコメントを付記し、ドライバーとコミュニケーションを図っている。



運転日報へのコメント

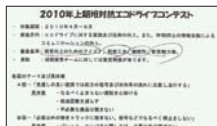
燃費管理

- 目標の向上率を車格別に設定している。また、全社での向上数値目標も別途設定している。
- 手書きの「車両自己管理表」で日々の燃費管理をするほか、整備の記録も手書きで書き込んでいる。また、給油ごとに燃費を記録し、そのたびに目標値に対しての「対目標増減」を記入している。
- 「車両自己管理表」のほかに、「燃費管理シート」を作成し、ドライバー自身で月ごとの燃費の推移を数値で記入するほか、グラフ化をして管理している。

車両自主管理表 ▶

活動成果と評価

- H17～H22の間に、18.6%燃費が向上。(5.628km/ℓ→6.678km/ℓ)。
- 交通事故のほかに、輸送事故を原因別に集計し、平成18年度対比で、30件→15件と成果が出ている。
- デジタコの安全運転ランキング100点、速度オーバー回数0回、急発進急減速回数0回、アイドリング時間0分に対して、それぞれ月ごとに報奨金を出す評価制度がある。



社内コンテスト

継続実績と方策

- エコドライブ実証実験として、燃費のよいドライバーと燃費の悪いドライバーの車両を交換し、2週間の燃費を計測。燃費の良し悪しは車両が原因ではなく、ドライバーの運転方法によるという結果が出た。その運転方法の違いを分析し、燃費の悪いドライバーの運転技術の向上に活用した。

燃費実験の結果 ▶

車種	1週	2週	1週	2週
軽トラック	5.802	6.829	6.823	
軽トラック	6.288	6.592	6.571	
軽トラック	6.482	6.786	6.483	
軽トラック	6.493	6.524	6.525	
軽トラック	6.433	6.400	6.403	
軽トラック	6.937	7.279	7.181	
軽トラック	6.234	6.879	6.792	
軽トラック	6.311	6.501	6.502	



磐城通運株式会社 植田支店

企業プロフィール

所在地：福島県いわき市三沢町堂平45-1
業種：運輸業
従業員数：51
車両数：37



法定速度から「2km/h減速」の運動は、平成21年度から始めた試みである。「エコドライブ＝安全」の信念のもと、スピードを落とすことにより、燃料費の削減、二酸化炭素の削減、交通労働災害事故の削減につなげることを目指している。また、社内コンテストを実施して、成績優秀者を表彰している。乗務員に対してグリーン経営カードを配布し、乗務員への意識付けをしている。全項目ともレベルの高い活動を展開している。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

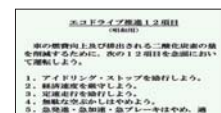
- グリーン経営認証のガイドラインに従って、毎年取組状況評価を綿密に行っている。
- 全従業員に対し、グリーン経営カードを配布。全社の環境方針や、グリーン経営の項目等を明記している。カードは、年度ごとに見直しを図っている。
- 自主点検表により、一人ひとりの乗務員自身が毎日点検を行っているほか、オイル交換やエレメント交換も乗務員一人ひとりが行い、結果を記録している。



グリーン経営カード

教育の実施

- エコドライブ推進12項目を制定し、従業員に唱和させ実践している。
- ほぼ毎月乗務員対象のエコドライブ会議を実施するほか、毎日の朝礼にて出席しているドライバーにエコドライブ教育を実施し、その議事録を残している。



エコドライブ推進12項目

燃費管理

- 車両1台ごとに目標燃費を設定し、毎月の燃費実績を書き込み掲示している。
- 燃費結果を車両自己管理表に記録し、少人数ミーティングでの指導に活用している。

車両自主管理表 ▶

活動成果と評価

- H16～H22の間に約14%燃費が向上している。
- 法定速度から2km/h減速について、ドライバーと直接話をしたところ、「東京まで行く際、後の車に3回～4回道を譲っている。面倒だと思っても正直あるが、事故は確実に減っているし、違反の数も減っている。やはりいいことなのだと思う。」とのこと。一人ひとりが「エコドライブ＝安全」を強く意識している。

法定速度2km/h減速 ▶



継続実績と方策

- 毎年10月に社内エコドライブコンテストを実施し、成績優秀者を表彰している。



社内コンテストの開催 ▶

優秀事例



南信州広域タクシー有限会社

企業プロフィール

所在地：長野県飯田市上殿岡717-4
業種：旅客運送業
従業員数：89
車両数：67



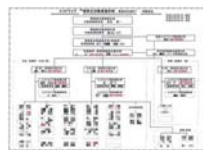
旅客運送事業者として、2勤1休のシフトがあるため、エコドライブ活動として社内の仕組みづくりがしづらい中、逆にそのシフトを利用した小集団での「集団点呼」で教育を実施するなどの工夫をしている。また、時代に先駆けた動きとしてEVを導入し、自治体と連動したエコドライブの啓蒙にも力を入れており、長野県の山間部でのエコドライブを推進していく上で、先導的な役割を果たしている。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

- 日勤・夜勤が混在する中で、業務グループ(貸切と乗合)と、3営業所ごとに推進責任者を定め管理している。また、点検整備は、11日ごとの集団点呼の際に一斉点検を実施している。

エコドライブ推進体制 ▶



教育の実施

- 始業点呼時に、会社が定めた20個の運転行動目標の中から、ドライバーに2つを選択させ、自覚と意識付けを促す取り組みを行っている。また、11日毎の集団点呼時には、前月の燃費のフィードバックなどを行っている。

運転行動目標 ▶



燃費管理

- 手書きの燃費記録表を用いて管理し、目標燃費や給油者サインなど、タクシーでは管理しづらい項目を選定し管理している。

燃費管理 ▶

活動成果と評価

- 事故低減については、地元新聞に取り上げられるほどの成果を挙げている。燃費も毎年向上している。
- 自治体と連携してエコドライブの啓蒙活動を行っている。

新聞記事 ▶



継続実績と方策

- EV車を導入するなど、ハード面からも環境対策を積極的に推進している。
- エコドライブ講習認定自動車学校での講習を受講している。

EV導入 ▶



株式会社ダイコー商運

企業プロフィール

所在地：静岡県浜松市東区白鳥町308番地
業種：運輸業
従業員数：90
車両数：65



主に商品車輸送を行っている事業者である。きめ細かく、かつ高いレベルでエコドライブ活動が行われている。社長自らが「エコドライブが会社を救う」という信念に基づき、常に改善に取り組んでいる。積極的に社員の声を聞き、評価基準の明確化が実践されている。これまでの成果に満足せず、『5S』などにも取組み、エコドライブ活動をより活性化しようとしている。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

点数管理された議事録 ▶

- 毎月1回、全員参加のミーティングを実施し、参加記録もすべて点数化して評価に活用している。議事録は社長がすべて確認している。
- 点検整備の徹底
これまで交換していなかったタービンオイル等を、定期的に交換することで整備費を削減。

教育の実施

- 月に1回、グループミーティングを開催するほか、いすゞ自動車のセミナーに参加。
- 議事録の署名欄に各自で署名し、改善要望等もすべて記録している。
- 『5S活動』(整理、整頓、清掃、清潔、躰)を平成20年からスタート。一見エコドライブとは関わりない活動に見えるが、実際はエコドライブにもつながっている。

研修日程表

燃費管理

- 自社内でのコンテストを実施し、その結果から期末に次期燃費目標値を算出し、車両や運行形式に合わせて補正している。
- 手書きの「燃費管理表」で日々の燃費管理をするほかに、整備の記録も手書きで書き込むことによって、整備の前後での燃費の変化がわかるようにしている。

燃費管理表

活動成果と評価

- H13～H22の間に、約20%燃費が向上。
- 整備費が約50%削減し、重大事故がなくなった。
- ドライバーそれぞれの燃費に順位がつけられ、表彰が行われる。
- 事故の損害金額を、事業所毎に換算してグラフにまとめている。
- 自社内でエコドライブコンテストを実施。表彰する際は、家族にも手紙を出すなどの配慮をしている。

グループ成果

個人成果

継続実績と方策

- 報奨制度では、燃費改善の上位25名に燃費改善分の50%を還元している。
- リーマンショック後の平成21年9・10月にエコドライブ強化月間として2ヶ月限定でコンテストを実施し、燃費が5%アップ。

コンテスト還元規定 ▶

優秀事例



T B 物流サービス株式会社 生産物流部

企業プロフィール

所在地：愛知県豊田市大島町前畑 1 番地の 1
業種：運輸業
従業員数：140
車両数：105



大手自動車メーカーの紡織製品の輸送を担当する物流関連会社であり、親会社の環境方針を軸に、エコドライブ活動をしている。7つの事業所を抱えているが、燃費管理の仕組みが統一されており、PCに各自で入力することが、PC教育の推進にも繋がっている。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

- グループ会社で地球環境憲章を定める中、T B 物流サービス社として環境改善の自主的な取組みとしてエコドライブの推進を選択し、7事業所に班長を設け、ボトムアップの体制を築いている。

エコドライブ推進体制 ▶



教育の実施

- デジタルタコグラフを利用した点呼時の運転指導に加え、各営業所で年3回の集合教育を行っている。
- 自社で作成した省エネ走行テキスト、ドライバーから提出されたヒヤリハット報告書や改善要望書などを利用し、モチベーションの維持向上を図っている。
- 中部トラック総合研修センターに、全乗務員(116名)を派遣し運転教育を受講している。

省エネ走行テキスト



燃費管理

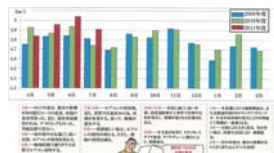
- 自社独自のエクセルシートを利用して、給油があれば帰社時の終業点呼時に、ドライバー各自が入力する仕組みになっている。また、1給油毎のドライバー所感を入力できる欄と、管理者コメント欄が常備されており、給油ごとに燃費を振り返る仕組みが徹底されている。

燃費管理表 ▶

活動成果と評価

- 活動3年間で燃費向上が継続している。また、副次的効果として、荷主からの評価向上やリフト運転技術の向上などが挙げられる。

燃費変化 ▶



継続実績と方策

- QCサークル活動で、営業所ごとの活動発表の場を設け、次年度以降の創意思工提案に優れている事業所に奨励金を出している。

QCサークル活動による報奨 ▶



株式会社中央運輸

企業プロフィール

所在地：岡山県美作市北山321番地
業種：運輸業
従業員数：10
車両数：10



食品包装容器(食品トレイ)メーカーの物流関連会社である。経営改善の手法として、エコドライブ活動に取り組んでいる。オリジナルキャラクター「トレーマン」を車体にデザインすることで、ドライバーが見られている事を意識し、エコドライブに繋がっている。近隣の子どもたちから手を振られることもあるという。

エコドライブの活動内容

取組体制の整備

- 推進者がISOの審査員の資格を持つなど、環境への取組みを良く理解した組織構成でエコドライブ活動が推進されている。

エコドライブ推進体制 ▶



教育の実施

- 全員集合してのセミナー開催を実践しており、かつ全ドライバーが交通エコロジー・モビリティ財団認定の実車講習を受講している。
- 安全とエコドライブに関する月次の自己分析表提出を義務付けており、管理者の評価とコメントを添えてのフィードバックをすることで、現場との対話を図っている。

自己分析表

燃費管理

- 意識付けを目的に、ドライバーによる手書きの燃費記録票を導入している。
- 上記から作成したデータを、車ごとにデジタルタコグラフの距離情報と燃料の請求実績から作成した燃費データと比較・補正している。

燃費管理表 ▶

活動成果と評価

- 平成22・23年と交通事故0件を達成している。
- 「シマフクロウの森プロジェクト」への参加など、社員が実感しやすい環境活動へ参加することで、ともすれば効果の実感にくいエコドライブ継続へのモチベーション向上に役立っている。
- 安全・燃費・目標クリアをもって毎月手当を支給している。

シマフクロウの森プロジェクトの植樹証明書 ▶



継続実績と方策

- トラック荷台にオリジナルキャラクターのトレーマンを書き入れることで、人から注目され、覚えられよう愛嬌ある車体とした。結果として人から見られることでドライバーの意識が向上し、エコドライブや安全運転の継続実践に繋がっている。



「トレーマン」を配した車体